

『土木職 総まとめ講座 計画系Ⅱ』(KU16256)

訂正表

2020年03月04日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容	掲載日
P. 24	[No. 3] 解説肢5	誤 5 誤 水資源開発基本計画や防災基本計画は、 <u>全国総合開発計画</u> の下位計画である。	2020/03/04
		正 5 誤 水資源開発基本計画や防災基本計画は、 <u>国土形成計画</u> の下位計画である。	
P. 25	下から6行目	誤 (4) トニー・ガルニエの工業都市 (<u>イタリア</u>)	2020/03/04
		正 (4) トニー・ガルニエの工業都市 (<u>フランス</u>)	
P. 37	下から3行	誤 (6) 美観地区 美観地区は、市街地の美観を維持するため定める地区で、そのために必要な建築物に関する制限が地方公共団体の条例によって定められる。	2020/03/04
		正 (6) 景観地区 景観地区は、市街地の良好な景観の形成を図るため、都市計画に定められる地区で、そのために必要な建築物に関する制限などが地方公共団体の条例によって定められる。 2005(平成17)年に景観法が施行されたため、従来の美観地区は廃止され、景観地区となった。	
P. 38	表3.2 「用途地域」	誤 記載なし	2020/03/04
		正 田園住居地域： 農業の利便の増進を図りつつ、これと調和した低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するため定める地域	
P. 38	表3.2 「景観・保全地区」	誤 美観地区： 市街地の美観を維持するために定める	2020/03/04
		正 景観地区： 市街地の良好な景観の形成を図るために定める	
P. 131	7～8行目	誤 (2) <u>臨港区域</u> ： 都市計画法で定める陸地の地区区分で、これ以外にも港湾管理者は範囲を定めることができる。港湾区域が埋立されて土地となると、 <u>臨港区域</u> となる。	2020/03/04
		正 (2) <u>臨港地区</u> ： 都市計画法で定める陸地の地区区分で、これ以外にも港湾管理者は範囲を定めることができる。港湾区域が埋立されて土地となると、 <u>臨港地区</u> となる。	
P. 144	[No. 4] 解説肢①	誤 港湾管理者が管理する水域部分を港湾区域、陸域の部分を <u>臨港区域</u> という。	2020/03/04
		正 港湾管理者が管理する水域部分を港湾区域、陸域の部分を <u>臨港地区</u> という。	
P. 145	[No. 5] 正解番号	誤 [No. 6] 正解 <u>1</u>	2020/03/04
		正 [No. 6] 正解 <u>3</u>	

P. 145	[No. 5] 解説文	誤	① 防波堤…エ 港内静穏度の確保, ② 防砂堤, 導流堤…ア <u>海岸の決壊の防止</u> , ③ 突堤, 堤防, 護岸…ウ <u>港湾施設および後背地を波浪, 高潮, 津波から保護</u> , ④ 防潮堤, 高潮堤, 津波堤, 水門, 閘門, 胸壁…イ <u>水深の維持</u> 外郭施設の名称と機能についてまとめておこう。外郭施設の配置についても注意しておくとうい。 よって, 正解は <u>肢1</u> である。	2020/03/04
		正	① 防波堤…エ 港内静穏度の確保, ② 防砂堤, 導流堤…イ <u>水深の維持</u> , ③ 突堤, 堤防, 護岸…ア <u>海岸の決壊の防止</u> , ④ 防潮堤, 高潮堤, 津波堤, 水門, 閘門, 胸壁…ウ <u>港湾施設および後背地を波浪, 高潮, 津波から保護</u> 外郭施設の名称と機能についてまとめておこう。外郭施設の配置についても注意しておくとうい。 よって, 正解は <u>肢3</u> である。	
P. 159	[No. 5] 問題肢2	誤	2 正 誤 <u>正</u> 正	2020/03/04
		正	2 正 誤 <u>誤</u> 正	
P. 165	[No. 5] 解説肢ウ	誤	ウ <u>正</u> <u>そのとおりである。</u>	2020/03/04
		正	ウ <u>誤</u> <u>膜ろ過方式を採用した浄水場も増えてきている。</u>	

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。